

## 取組事例

(所定外労働削減)・(年休取得促進)・多様な正社員・朝型の働き方・テレワーク)

企業名：鈴木ヘルスケアサービス（株）	所在地：滋賀県彦根市
社員数：79名	業種：医療、福祉



### 取組の目的：

登録ヘルパーの退職者が多く、離職理由を聞くと勤務環境への不満があった。勤務環境の実態が※企業理念と乖離しているのでは・・・と思いアンケートで実態を調査したところ、改善の必要性を感じ、取組を実施したもの。

※「イキイキと働きやすい職場を提供し、安心と幸せを地域社会に提供します」

### 取組の概要：

#### 〈現在の取組〉

##### ○所定外労働時間削減の取組

・管理職が自ら定時に上がることで、一般職も定時に帰れる雰囲気を作り上げることができた。

##### ○休日数の取組

・社員の年間所定休日を年間110日から125日に増やし、年次有給休暇と合わせて連続休暇を取りやすくした。

##### ○休暇制度の取組

・連続5日の休暇制度  
GW、夏期休暇は公休と併せて5連休として、指定休暇（有給）制度を導入した。

##### ○人材育成の取組

・外部研修の受講者に社内伝達研修の講師を行わせることで、外部研修受講時の習得意識を高めることができた。  
・毎週、資格取得講座（介護支援専門員・介護福祉士）を開催し、参考書の購入費用の一部を施設が負担することで、スキル向上の意欲を持つ社員を支援した。

### ○子育て世代への配慮の利組

- ・産前産後休暇、育児休業取得促進の取組  
両立支援制度について、わかりやすいパンフレットを作成することで制度を周知
- ・時間単位年休制度  
仕事の合間に短時間の用事をできる仕組みとし、ちょっとした学校行事や家族の用事に活用できるようにする
- ・短時間勤務制度  
子育て世代には、短時間勤務制度（8時間→6時間）を推奨
- ・子供を連れての出勤  
子供が休校の時など、職場に連れて勤務可能に
- ・子供を連れてのイベント参加  
忘年会、社内旅行には子供も参加可能（無料）に

### 現状とこれまでの取組の効果：

#### ○実績

- ・所定外労働時間の削減  
平成18年：20時間 → 平成26年：10時間  
（責任者は約30時間） （責任者は約20時間）
- ・長期休暇制度の利用者数（連続5日以上）  
平成18年：10% → 平成26年：100%
- ・年次有給休暇の取得率  
平成19年：43% → 平成26年：49.5%
- ・定着率の向上（離職率の低下）  
平成19年の在籍労働者数 67名 そのうち退職者数 33名（離職率49.3%）  
→平成26年の在籍労働者数 79名 そのうち退職者数 7名（離職率8.9%）
- ・「子供を連れての出勤」利用者数  
平成18年：1人 → 平成26年：9人
- ・7年連続無災害  
研修で習得した身体に負担の掛からない介護作業をすることで、労働災害の発生は7年連続0件